

となりぐみ 21

大森西地区地域情報紙

《発行》
地域力推進大森西地区委員会
《編集》
となりぐみ 21 編集委員会
《事務局》
大田区大森西特別出張所
所在地：大森西 2-16-2
電話：3764-6321
大森西管内人口 令和6年8月1日現在
人口 61,024名
世帯数 36,838世帯

★【ホームページ版「となりぐみ 21」開設中!~ぜひご覧ください~】

大田区ホームページ 地域情報紙となりぐみ21

検索

きこの公園の清掃

毎週月曜日と木曜日の週二回、十時から十一時三十分は大田福祉工場に勤務する方が大森西二丁目児童公園（きこの公園）の清掃をしています。

皆さんそれぞれ得意分野があり、ゴミの分別がわからない方には、わかる方が指示を出してゴミを上手く分別し束ねていきます。

清掃をしていて一番嬉しいことは、落ち葉やタバコの吸い殻、ゴミで汚れていた公園がきれいになる事、清掃をしている時に『掃除をしてくれてありがとう』と声かけされると元気が出ると言います。

利用者さんの中には折り紙が大変上手な方がいらして、折った折り紙を公園に散歩に来ていた園児にあげると、喜んでくれたりする時が嬉しいとの事。清掃をしていて大変な事は、苦手なハトが寄ってくる事だそうです。

社会を明るくする運動

第十五回大森西地区集會

七月十五日、大森学園高校にて社会を明るくする運動大森西地区集會が開催されました。

当日は、自治会・町会や保護司会等、約三百人が来場しました。

今回の地区集會では、大森警察署による薬物の危険性についての講演と、大森学園高校のチアリーダーと、大森学園高校の元氣あふれるパフォーマンスがありました。



きこの公園は、近隣の皆さん、大人も子供も公園のベンチで日向ぼっこをしたりお話をしたり遊んだりする憩いの場です。公園を利用する皆さん個人々人が出したゴミをそれぞれ持ち帰って、一人一人が公園を綺麗に使用すれば、いつも気持ちよく公園を使用することができますのではないかと思います。

いつも清掃してくれている大田福祉工場の皆さん、ありがとうございます。

大森西二丁目三和会 安東 陽子

この地区集會が、地域における更生保護活動への理解を深める良ききっかけになることを願っています。

編集部



「となりぐみ 21」は各ご家庭に配布しています。一部ずつお取りください。



第8回 ふる浜まつり



令和6年10月13日(日)



大森ふるさとの浜辺公園 10時～14時

雨天時:大森東小学校 10時～12時

今年もふる浜まつりを開催します!

野菜・卵・米の販売や模擬店・無料のゲームコーナーなど、子どもから大人まで楽しめる企画を準備中です。

ぜひ、皆様お誘いあわせの上、お越しください 😊

詳細については、大田区のホームページや区報でお知らせいたします。



伊東淳子＝大森山谷自治会 平林孝次＝大森町自治会 大森鶴渡町会 小峰由枝＝本宿町会 石井 忍＝大森中八幡自治会 落合一美＝大森堀之内自治会 伊藤奈穂＝大森東一丁目町会 コーシャハイム大森東自治会

三十六年ぶりの稚児行列

大森西谷戸三輪神社では令和大改修が終了した事を記念し、お子様の健やかな成長と町の繁栄、皆様の幸せを祈り、令和六年四月二十一日(日)に稚児行列を実施しました。この稚児行列は、現在の社殿落成以来三十六年ぶりとなります。

今年は大森第三小学校創立百年の年と重なりましたので、合わせて大森第三小学校百年を祝い、地元三輪、鶴渡、邦西の各町会と氏子会を中心として地域をあげてのお祝い行事になりました。行列は大森第三小学校の校庭から出発し、大森町共栄会通りを通って三輪神社へ行くコースで参加のお子様二十七名は、可愛らしい稚児の装束を身にまとい練り歩いていただきました。また、期間中は大森町共栄会のご協力により、商店街の街路灯にお祝いの旗を付けていただきました。

結びに皆様のご協力により、盛大に実施する事ができました。心から感謝申し上げます。



三輪神社氏子会副総代 渡辺 亮

編集委員

緑川祐弘＝大森東一丁目団地自治会 編集委員

湯本良太郎＝大森本町二丁目仲町会 編集委員

信藤康俊＝大森本町北町会

金澤利奈＝大森本町二丁目新地町会

花館敏雄＝大森澤田東町会

西村妙子＝大森沢田西町会

大森北六丁目沢田町会

モンブラン・ブレンバリッジ

ヨーロッパアルプス最高峰モンブラン(四七〇八m)のイタリア側に雪と氷壁の「ブレンバリッジ」というルートがあります。

ギグリオーネ小屋を午前一時に出発。天候はくずれガスがわいている。後輩の吉田と行くか帰るか思案の末、登攀を決行。そこにドイツ語を話す二人のクライマー。僕らが雪壁を進むと後からついてきて、休むとまた休むという情けないパーティだ。



ブレンバリッジも最終にかかると青氷(ブルーアイス)の壁にぶち当たり、それを一五〇mほどトラバース(横断)すると頂稜に出た。頂上まで四四〇m登らねばならない。二十時四十五分頂上。ヘッドライトをたよりにバロー小屋を指すも到達できず、四四〇〇m地点でビバーク。翌朝、明けるとすぐそばが小屋だった。本ルートも記憶に残る山行ではあった。一九八三年七月三日～四日の記録より。

大森町自治会 平林 孝次

大森西の昔の地図 その二

開校小学校の敷地の一部に、むかしは民家が建っていました。左の地図の赤枠で囲った部分に七軒ほどの家が建っていますが、よく見ると民有地と学校の敷地の間に柵があり、その中央が途切れています。私が大森第二小の生徒だった頃、森君という同級生の家が丁度このあたりで、登校時間の十秒前までご飯を食べていられるというのが彼の自慢でした。



この地図は昭和十三年のもですが、なぜか校名が「大森家政女学校」となっています。都市整備社火災保険特殊地図

大森澤田東町会 花館 敏雄

今年も忘れず 戻ってまいりました

私は「ツバメ」です。夫婦で子育ての為実家に戻りました。

私たちが家(巣)は大森山谷自治会の中頃にある商店街の一角、お店の入口の上に有ります。建てたのは古く平成八年から年に二回、子供たちが巣立つ迄お世話になり、その間大森山谷自治会の会員の一羽となり夫婦で町会活動を見学しています。

先日大勢の自治会会員の皆様方が塵取りと箒をもって町内のお掃除をしている姿を眺めていました。

この場所は怖い「カラス」も居なく家の下を通る人たちが応援してくれて子育てするには安全で夜も街灯が明るく、とても快適な住まいと思っております。ただこの頃は虫の数が少なくなり子どもたちの食事を採ることが忙しくなりました。



周りのお店も少なくなり寂しい時もありますが、六月末、私たち親子は無事巣立ちして今は子供達に餌の取り方や遠く南方の国へ帰る準備をしています。

次は七月に二回目のお産をしてその子たちの巣立ちをみて秋には旅立ちます。

来年、春になれば地球の反対側、南の国より数千キロを旅して大森山谷の我が家に戻ってきます。

私達が亡くなり子供達として孫達もこの町が生まれ故郷として戻れる安全で安心の町にして下さい。

また来年はお祭りや様々な自治会活動を空から眺めたく皆様のご活躍期待しております。気を付けておりますが店先や道路を汚して申し訳ございません。

帰国に際しまして大勢の皆様方にお礼申し上げます。

その様に「ツバメ」が申しておりますので代わりにお伝えさせていただきます。

大森山谷自治会 大塚 政利

命を守る呼びかけ

災害のおそれがあるとき、誰にどんな言葉をかけますか？

命を守るために相手にとってほしい行動を共有し考えるワークをNHK協力のもと、自治会・町会では順次取り組んでまいります。

編集部

